

様式第8（第11条関係）

令和4年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地 域 第 181 号

令 和 5 年 2 月 2 日

島根県知事 丸 山 達 也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1  
氏名 雲南市長 石 飛 厚 志

令和4年6月30日付け第345号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（引野 自治会有害鳥獣侵入防止柵設置 工事）事業	雲南市	1,980,000	1,980,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（引野自治会有害鳥獣侵入防止柵設置工事）事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所		雲南市木次町西日登		
交付金事業の概要		<p>引野自治会は、雲南市の中山間部に位置する地域であり、総人口52名（21世帯）・高齢化率46.15%（令和4年3月31日現在）となっており、高齢化が進んでいる状況です。</p> <p>周囲を山に囲まれている当自治会は、有害鳥獣（特にイノシシ）による被害が多発しており、主なものとして、農作物への被害や畦畔、農地等に対する掘り返しが挙げられます。また、家屋裏の法面や木戸道に対する掘り返しも多発しており、掘り返した場所に近年多発している集中豪雨が続き、地盤が更にゆるみ、法面崩落の危険性も高まります。</p> <p>これまでは当自治会員が個々で対策を行っていましたが、高齢化が進む中で、個々で鳥獣侵入防止対策を行うことは厳しい状況になってきており、十分な鳥獣対策を行うことができない中で生活していくことに住民は非常に不安を抱えています。</p> <p>今回、自治会内への有害鳥獣の侵入を防ぐことを目的とし、自治会全体で有害鳥獣侵入防止柵を設置します。</p> <p>具体的な事業内容は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣侵入防止柵設置工事 L=256.4m</li> </ul>		
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>V 挑戦し活力を産みだすまち</p> <p>施策34 農業の振興</p> <p>安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。</p> <p>施策の目標：市内の農業所得総額（法人除く）</p> <p>現状 △6.3億円（令和2年度実績）</p> <p>目標 △4.6億円（令和4年度）</p>		
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度	令和4年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和4年度	
	引野地区における有害鳥獣対策により対策が完了した区間の割合(100%)	対策が完了した区間/対策を講ずるべき区間	成果実績	%		100	
			目標値	%		100	
			達成度	%		100	
	評価年度の設定理由						
	事業実施後、早期に評価を実施するため						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	-						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和4年度		
	引野自治会有害鳥獣侵入防止柵設置工事		活動実績	m	256.4		
			活動見込	m	254		
			達成度	%	100.9%		
交付金事業の総事業費等	令和4年度				備考		
総事業費	1,980,000						
交付金充当額	1,980,000						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	1,980,000						
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
	補助金交付	補助	引野自治会(雲南市)	1,980,000			
	計				1,980,000		
交付金事業の担当課室	雲南市木次総合センター自治振興課						
交付金事業の評価課室	雲南市木次総合センター自治振興課						

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
  - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
  - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
  - (4) 交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている市町村の上位政策・施策を記載すること。
  - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
  - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、成果及び評価を記載すること。
  - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
  - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価について報告を行うこと。
  - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載。成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には要因分次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
  - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合には、第三者機関等の名称等を記載すること。
  - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
  - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
  - (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を事業実施課室と評価実施課室が同一でも差し支えない。

様式第8（第11条関係）

令和4年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地 域 第 125 号

令 和 4 年 12 月 15 日

島根県知事 丸山 達也 殿

住所 雲南市木次町里方521番地1  
氏名 雲南市長 石飛 厚志

令和4年6月30日付け指令地第344号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	波多交流センター防災備品整備事業	雲南市	1,977,800	1,977,800	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	波多交流センター防災備品整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所		雲南市掛合町波多		
交付金事業の概要		<p>事業実施する「波多交流センター」は掛合町波多地区における地域活動の拠点施設であり、市の指定避難所にも指定し、防災拠点施設としての一面も有しています。しかしながら、当該施設は旧波多小学校を転用した施設であるため、広いスペースを確保できる部屋が無く、また、机や椅子などについても学校備品をそのまま活用している現状で、地域全体の会議を行うのに苦慮している状況です。</p> <p>そのような中、令和3年の豪雨災害を経験したことにより既存の地区防災計画の見直しを行う機運が高まっています。現状で確保できるスペースを有効に活用しつつ以下1～6の備品を整備することにより、計画見直しのための会議や防災訓練・研修などを円滑に実施できるものと考えています。</p> <p>また、波多地区は市中心部から最も離れた場所に位置しており災害時の連絡手段の確保は必須であることから、停電時でも携帯電話等に充電ができるよう、ポータブル電源を併せて整備するものです。</p> <p>この備品整備により、平常時及び発災時における地区内の防災体制の強化を図るものです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会議用折りたたみ机（配置のレイアウトが自由にできる可動式で、コンパクトに収納できる折り畳み式） 15台</li> <li>2. 会議用椅子（2種類：持ち運びが容易なもの及び高齢者等に配慮した肘付きのもの） 35脚</li> <li>3. 会議用椅子収納台車 1台</li> <li>4. プロジェクター（狭いスペースでの利用を考慮し天井設置する） 1台</li> <li>5. スクリーン（狭いスペースでの利用を考慮し天井設置する） 1枚</li> <li>6. 書画カメラ（資料投影用のスキャナー） 1台</li> <li>7. ポータブル電源 1個</li> </ol>		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち《定住環境》</p> <p>施策16 消防・防災対策の推進</p> <p>防災意識の向上と実践、防災施設の整備</p> <p>施策目標：災害に対する家庭での備えをしている市民の割合</p> <p>現状 31.2%（令和2年度実績）</p> <p>目標 36.0%（令和4年度）</p>		
事業開始年度	令和4年度	事業終了（予定）年度	令和4年度	
事業期間の設定理由				
	成果目標	成果指標	単位	評価年度
	災害に対する家庭での備えをしている市民の割合	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭での備え」についての項目に、「している」と答えた数/市民アンケート回答者数	成果実績	令和5年度
			%	
		目標値	%	36.0
		達成度	%	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	—					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和 年度	年度
	波多交流センターへの 防災備品整備数	活動実績	点	55		
		活動見込	点	55		
		達成度	%	100%		
交付金事業の総事業費等	令和4年度	年度	年度	備考		
総事業費	1,977,800					
交付金充当額	1,977,800					
うち文部科学省分	0					
うち経済産業省分	1,977,800					
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	波多交流センター防災備品整備	指名競争入札	土江文具店（雲南市）	1,977,800		
	計				1,977,800	
交付金事業の担当課室	掛合総合センター自治振興課					
交付金事業の評価課室	掛合総合センター自治振興課					

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、し、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

様式第8（第11条関係）

令和4年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地域第221号

令和5年3月15日

島根県知事 丸山 達也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1  
氏名 雲南市長 石 飛 厚 志

令和4年6月30日付け指令地第346号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（吉田町交流センター（吉田・田井・民谷）防災備品整備）事業	雲南市	1,748,513	1,748,513	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（吉田町交流センター（吉田・田井・民谷）防災備品整備）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所		雲南市吉田町吉田 ほか2件
交付金事業の概要	<p>雲南市吉田町内の各交流センターの防災備品は、平成29年度から本交付金を活用し整備することとしております。地域自主組織の拠点施設であり災害時の指定避難所でもある、雲南市吉田町内の交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する町内住民の自助・共助の意識の醸成を図ります。</p> <p>今年度も地震等大規模な災害の発生により避難した地域住民が数日間避難所で生活を送る事態を想定し、交流センター以外の地区内の避難所（体育館等）も含めた避難所運営に必要な備品の整備を進めます。また、昨年7月の豪雨災害時に各地区で避難所を開設した経験から、季節に関わらず迅速な避難者受け入れ及び効率的な避難所運営のため、必要な避難所用備品を追加整備します。</p> <p>このような各地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。</p> <p>各交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <p><u>吉田交流センター（吉田地区振興協議会）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子 1台</li> <li>・ヘルメット 5個</li> <li>・折り畳み式ヘルメット 5個</li> <li>・畳ロール 3本</li> <li>・大型扇風機 3台</li> <li>・石油ファンヒーター 2台</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 19点</p> <p><u>田井交流センター（田井地区振興協議会）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪機 1台</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 1点</p> <p><u>民谷交流センター（民谷地区振興協議会）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーラーパネル 1組</li> <li>・業務用ストーブ 1台</li> <li>・スポットエアコン 1台</li> <li>・スポットエアコン延長用冷風ダクト 1本</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 4点</p> <p style="text-align: right;">3施設合計 24点</p>	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標	<p>令和4年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画2015－2024）】</p> <p>II 安全・安心で快適なまち</p> <p>施策16 消防・防災対策の推進</p> <p style="padding-left: 20px;">防災意識の向上と実践、防災施設の整備</p> <p>各交流センターに防災備品を整備することで、避難所機能の充実を図るとともに、この防災備品を地域自主組織が管理し、避難訓練等の活動に取り組むことで、自主防災活動を強化し、地域住民の防災意識の醸成を図る。</p> <p>施策の目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合</p> <p>現状 31.2%（現状値：令和2年度）</p> <p>目標 36.0%（令和4年度）</p>	

事業開始年度	令和4年度		事業終了（予定）年度		令和4年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和5年度
	災害に対する家庭 内での備えをして いる市民の割合 36.0%	市民アンケートにおい て「災害に対する家庭 内での備え」につい ての項目に、していると 答えた数／市民アン ケート回答者数	成果実績	%	
			目標値	%	36
			達成度	%	
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	—				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	吉田町地域自主組織への防災備品整備数		活動実績	点	146	209	233
			活動見込	点	146	209	233
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考		
総事業費		2,977,590	1,947,000	1,748,513			
交付金充当額		2,977,590	1,947,000	1,748,513			
うち文部科学省分		0	0	0			
うち経済産業省分		2,977,590	1,947,000	1,748,513			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助金交付		補助		吉田地区振興協議会（雲南市）		359,433	
補助金交付		補助		田井地区振興協議会（雲南市）		880,000	
補助金交付		補助		民谷地区振興協議会（雲南市）		509,080	
		計				1,748,513	
交付金事業の担当課室		吉田総合センター自治振興課					
交付金事業の評価課室		吉田総合センター自治振興課					

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。  
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。  
(3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。  
(4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。  
(5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。  
(6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。  
(7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。

なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。

- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、し、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

様式第8（第11条関係）

令和4年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地 域 第 2 2 2 号

令 和 5 年 3 月 1 5 日

島根県知事 丸 山 達 也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1  
氏名 雲南市長 石 飛 厚 志

令和4年11月30日付け第738号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	バス停留所標識柱設置事業	雲南市	1,062,600	1,062,600	総事業費 1,062,600

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	バス停留所標識柱設置事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市			
交付金事業実施場所	雲南市大東町塩田 外22か所				
交付金事業の概要	<p>雲南市民バスは、現在30路線、161便/1日運行しており、バス停留所が市内全域に約450箇所に設置されています。このバス停留所に設置している標識柱は、バスの乗降場所、時刻及び行き先等を掲示し利用者に示すものであるため、利用する上で必須です。</p> <p>しかし、中には平成16年以前の旧町村時代に整備したものなどもあり、経年劣化による老朽化で朽ち果てている箇所や倒壊等設置箇所の安全確保が問題となっています。</p> <p>そこで、市内全域で更新の必要性が高いものの調査を行い、今年度は大東地区のバス停留所標識柱23基について更新することで、利用者の安心安全を確保しつつ、利便性を向上させます。</p>				
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標	<p>第2次雲南市総合計画（平成27年度～令和6年度）（後期基本計画 令和2年度～令和6年度）</p> <p>政策：Ⅱ安全・安心で快適なまち《定住環境》</p> <p>施策：13公共交通ネットワークの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりと連携した持続可能な公共交通体系を構築し、公共交通機関の利用促進を図ります。</li> <li>・既存の交通網の整備を図るとともに、多様な交通手段の提供により、利用者の利便性を確保します。</li> </ul> <p>施策目標</p> <p>市内の公共交通サービス機関（バス・JR・だんだんタクシー・デマンド型乗合バス）に満足している市民の割合</p> <p>現状 53.2%（令和3年度）</p> <p>目標 58.0%（令和4年度）</p>				
事業開始年度	令和4年度	事業終了（予定）年度	令和4年度		
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	
	市内の公共交通サービス機関（バス・JR・だんだんタクシー・デマンド型乗合バス）に満足している市民の割合 58.0%	市民アンケートにおいて「市民の公共交通サービスに満足している」項目に満足、多少満足と答えた数/市民アンケート回答者数	成果実績	%	
			目標値	%	58.0
			達成度	%	
	評価年度の設定理由				
	本市は毎年度の市民アンケート結果を事務事業評価に反映して事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
交付金事業の定性的な成果及び評価等					

		評価に係る第三者機関等の活用の有無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	市民バス標識柱の更新数	活動実績		基	40	21	23
		活動見込		基	40	21	23
		達成度		%	100	100	100
交付金事業の総事業費等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考		
総事業費		1,540,000	814,000	1,062,600			
交付金充当額		1,540,000	814,000	1,062,600			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		1,540,000	814,000	1,062,600			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
バス停留所の標識の製作及び設置		一般競争入札		有限会社サンユウ工芸(雲南市)		1,062,600	
		計				1,062,600	
交付金事業の担当課室	雲南市役所 政策企画部 うんなん暮らし推進課						
交付金事業の評価課室	雲南市役所 政策企画部 地域振興課						

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、し、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

様式第8（第11条関係）

令和4年度島根県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

地域第223号

令和5年3月15日

島根県知事 丸山達也 殿

住所 雲南市木次町里方521-1  
氏名 雲南市長 石飛厚志

令和4年11月30日付け指令地第737号をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金にかかる交付金事業の成果の評価について島根県電源立地地域対策交付金交付要綱第11条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要する経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（一宮交流センター備品整備）事業	雲南市	1,151,920	1,151,920	総事業費 1,151,920円

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（一宮交流センター備品整備）事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所		雲南市三刀屋町給下		
交付金事業の概要		<p>雲南市内には、地域自主組織が概ね小学校区単位で30組織が設立されています。この地域自主組織とは、まちづくり活動の拠点として地域の課題解決に向けた活動団体であり、各地域で持続可能なまちづくり活動の推進が積極的に行われている組織です。</p> <p>当該三刀屋町一宮地区の活動拠点施設である一宮交流センターにおいては、一宮自主連合会代議員総会や、新年賀会、敬老会など100人超規模の会が開催されておりますが、現在会議関連備品のうち会議用テーブルが老朽化による在庫の減少などにより出席者に対しテーブルが不足しており、テーブルを使用できず一部活動が制限されている状況です。</p> <p>備品を整備することで、地域活動の充実や交流促進事業の強化を図り、地域の諸課題解決に向けた取り組みを強化できます。</p> <p>このような地域自主組織での主体的な備品の整備に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を交付します。</p> <p>一宮交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕板棚付き会議テーブル 17台</li> </ul>		
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策I みんなで築くまち          施策01 市民が主役のまちづくりの推進          まちづくり活動への参加推進・まちづくり活動の拠点整備</p> <p>施策目標：過去1年間に地域活動に参加した市民の割合          現状 59.0%（令和3年度実績）          目標 75.0%（令和4年度）</p>		
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度	令和4年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和5年度	
	過去1年間に地域活動に参加した市民の割合 75.0%	市民アンケートにおいて「過去1年間に地域活動に参加した」についての項目に、したと答えた数/市民アンケート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%		75.0	
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のP D C Aサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	-						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和4年度		
	一宮地区地域自主組織への備品整備数	活動実績		台	17		
		活動見込		台	17		
		達成度		%	100		
交付金事業の総事業費等	令和4年度				備考		
総事業費	1,151,920						
交付金充当額	1,151,920						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	1,151,920						
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
	補助金交付	補助	一宮自主連合会（雲南市）	1,151,920			
	計				1,151,920		
交付金事業の担当課室	雲南市三刀屋総合センター自治振興課						
交付金事業の評価課室	雲南市三刀屋総合センター自治振興課						

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
  - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
  - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
  - (4) 交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている市町村の上位政策・施策を記載すること。
  - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
  - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、成果及び評価を記載すること。
  - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
  - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価について報告を行うこと。
  - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載。成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には要因分次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
  - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合には、第三者機関等の名称等を記載すること。
  - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
  - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
  - (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を事業実施課室と評価実施課室が同一でも差し支えない。